

# 元気シニア活躍推進モデル事業

## 活動事例の発表



生涯現役シニア  
応援センター

ぷらっと



令和7年3月18日

Change mind set project

環境美化から始めるマインド・リセット!

本気でクラブ活動を  
楽しもうじゃないか

# 静和川流域連携キャラバン



栃木蔵の街シニアクラブ連合会

静 寿 会

©2014 栃木市とち介 © 栃木市

栃木市 岩舟町



## - 静寿会について -

### 【クラブ概要】

発足 昭和39年4月 会員数 152名

### 【クラブ理念】

「健康・友愛・奉仕」の精神

### 【クラブ活動内容】

定例役員会議 奉仕活動 世代間交流活動

### 【大切にしていること】

顔が見える人間関係 地域住民との支え合い・助け合い活動

# 世代間交流

-フライングディスク-



-野菜の苗 植え付け-



# やまし、も大会



# 静和川+江川 全長約9km

50

静和川

小山市 →

佐野藤岡  
IC

← 佐野市

渡良瀬遊水地

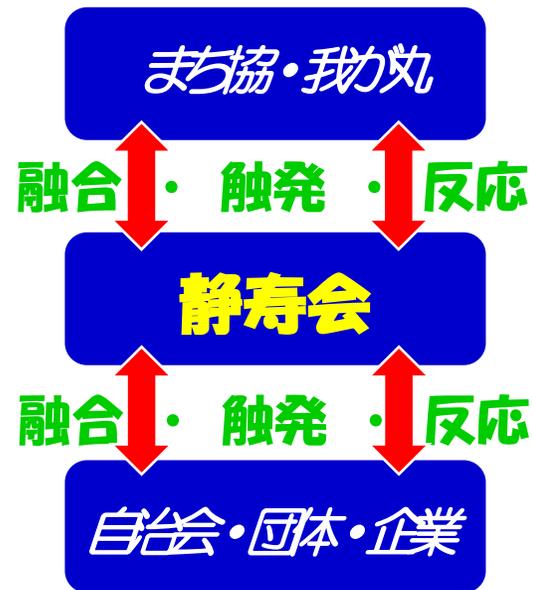
江川



## 【2】実施背景

“家族や地縁”によって行われていた  
“支え合い活動”が難しくなっている

《活動の枠組み》



【積極的に取り組んだこと】

実施地域で個別訪問



実施地域で説明会

実施地域で現地調査



《地域に愛着を持つ人の創出・拡大》

### 【3】実施目的

流域連携による清掃活動を通じた顔が見える関係づくりで  
流域一体の連携や地域のつながりの再生を行う



## 【4】実施方法

“住民”から“関わる人”に、  
そして“地域に愛着を持つ人”へつなげる **3ステップ**

-活動 前-



-活動 中-



-活動 後-



## 【5-1】実施結果

### 【実績】

- ①流域での活動 1回／毎月 第二土曜日 8時～ 令和5年10月から**18**回実施
- ②景観変化 倒木撤去、ゴミによるよどみの解消、土砂だまりの解消など
- ③回収ゴミ 燃えるゴミ**95**袋、燃えないゴミ**39**袋 ※アダプト制度使用
- ④参加延べ人数 **402**名 (**22**名/回) ゴミ捨て禁止看板 **12**ヶ所設置
- ⑤活動範囲 静和川、江川、渡良瀬遊水地



## 【5-2】 実施結果



【5-3】 実施結果



# 【5-4】 令和5年度 実施結果



第1回目 10月14日 33名



第2回目 11月11日 23名



第3回目 12月9日 26名



第4回目 1月12日 28名



第5回目 2月10日 23名



第6回目 3月9日 24名

# 【5-5】 令和6年度 実施結果



第7回目 4月13日 20名



第8回目 5月11日 20名



第9回目 6月8日 15名



第10回目 7月13日 33名



第11回目 8月3日 18名



第12回目 9月14日 23名

【5-6】 実施結果

藤岡町 赤麻地区



第13回目 10月12日 20名

藤岡町 江川最終地点



藤岡町 江川橋

第14回目 11月9日 18名

【5-7】 実施結果



藤岡町 東江川地区

## 【5-8】 実施結果



# 元気シニア活躍推進モデル事業

《 静和川流域連携キャラバン を実施してみた感想 》

## 1. 会員の声

- ① 地域内外に知り合いが増えた
- ② 身近な生活エリアの川にも問題が見えた
- ③ 美化清掃は地域まちづくり活動の一つと思われる

## 2. 気づいたこと

- ① 川の流れを阻害している「土砂だまり」がたくさんあった
- ② 不法投棄されたバッテリー、タイヤ、ポンプ類があった

### **3. 嬉しかったこと**

- ① 女性の参加者があった♪
- ② 散歩中の方から「頑張ってください!」とエールをもらった♪
- ③ 暑い日も寒い日も大勢の参加者で活動できた♪

### **4. わたしのひとり言**

- ① 人と人とのつながりの大切さが骨身にしみた
- ② シニアパワーも、流域を連携させることができると思った
- ③ 地域の支えあい・助け合いはできつつあると思う
- ④ 大勢の人と顔見知りになれたことは、心の支えになっている
- ⑤ 事故なく、ケガなく安全に活動ができたことに感謝!

# 【7】活動トピック

わかりやすくして設置

新



旧



バッテリー、ポンプなど

## 取材依頼

令和6年6月1日

「川でつながる地域共生社会への取組」  
-立場も地域も超えて力を結集/シニアクラブ活動取材のお願い-



## 掲載記事

### 河川清掃続け10回目

栃木静寿会 遊水地目指し月1回

【栃木】岩舟町静和地区の老人クラブ「静寿会」が

静和川流域を下りながら周辺の住民らと毎月実施してきた環境美化活動が13日、10回目を迎え、藤岡地域の江川に入った。

活動は流域一体となった連携や地域のつながりの再生を目的として、昨年10月に開始した。渡良瀬遊水地を目指して下流に少しづつ場所を移しながら、周辺自治会や企業、関係団体など月1回実施している。



約30人が参加した江川の清掃

過去9回で延べ211人が約3・5キロを清掃し、45袋、燃えないごみ19袋を集めた。県老人クラブ連合会の元気シニア活躍推進モデル事業となっている。

(荒井克己)

## 大川市長への要望書

栃木市長  
大川 秀子様

令和6年2月吉日  
どらぎ歳の街シニアクラブ  
「静寿会」会長 小野 正隆

### 要望書

「静和川流域環境美化活動」について

余案をお慮き折、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。市長におかれましては市政運営に日々邁進されていることと存じます。さて私どもシニアクラブ静寿会は令和5年度県老連主催による「元氣シニア活躍推進モデル事業」に応募し【静和川流域環境美化活動】の案件で採用される運びとなり、令和5年10月14日(土)に第1回の活動をスタートさせました。以降毎月1回活動を継続し延長9kmを2年かけて渡良瀬遊水地まで美化活動を行っていく予定でございます。この間静和川流域の自治会、ボランティア団体、地元企業等のご協力をいただきながら活動を続けております。現在進んでおります静和川流域の環境美化活動中に本来の「川」の機能が損なわれているのが多く見受けられました。それらの状態(有様)を拝見いたしましたのでご覧いただきたく存じます。

### 要望事項

- り中州が出来ている ⇒ 土砂たまりの撤去
- の流れが悪い ⇒ 中州の撤去
- 倒れ込み ⇒ 樹木類の除去

いただき1日でも早く本来の「静和川の姿」を回復していただきます。よろしくお願い申し上げます。



★ “静和川流域連携キャラバン” は今後も続ける★

## チャレンジすること

地域の方に活動への理解を深めてもらい、  
活動のすそ野を広げるために

- ① 地元企業の参加をお願いする
- ② 自治会等への参加をお願いする
- ③ 世代を超えた広報活動をする

★モデル事業を立案・実施するために★

## 感じたこと

- ① 身近な課題に取組み、みんなの意見を取入れる
- ② 行政や関係機関（社協・ぷらっと）に支援を要請する
- ③ 事前準備（誰が・何を・いつまでに等）に時間をかける
- ④ まとめ役の強い気持ち（やる気・根気）が大切
- ⑤ 無理なく・急がず・息抜きが大切
- ⑥ 自主的な参加が長続きする秘訣

【8】最後にひとこと

＼人生100年時代／  
地域は  
社会参加のとびら



生涯現役シニア  
応援センター

ぷらっと

# 元気シニア活躍推進モデル事業

## 活動事例の発表



生涯現役シニア  
応援センター

ぷらっと



令和7年3月18日

# 元気シニア活躍推進モデル事業

## 活動事例の発表

“e-スポーツ”の導入と“クラブ活動の新たな魅力づくり”について



生涯現役シニア  
応援センター

ぷらっと

令和7年3月18日

高速栃木インター

野尻歯科クリニック

栃木市運動公園

箱森町東部公民館



新井町  
(株)アルレクス

栃木ダイハツ販売栃木店  
フェア対象店舗はこちら

箱森町



平柳星宮神社

永野川  
緑地公園

コメタ珈琲店 栃木箱森店

栃木柏尾線

新栃木

岩出町  
サンランド栃木

太平山遊覧道路

栃木スバル自動車株式会社 栃木店  
スバル販売店

栃木県立栃木高

栃木市役所

栃木市立美術館

とちぎ山車会館

Google

# 元気シニア活躍推進モデル事業

**みんなが学んで・体験して・教えて・地域で活躍！**  
“ **e-sports** ” が創る “ **小地域ネットワーク活動** ”



とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会 栃木支部  
**箱森東部シニアクラブ**

Community Activity Results Of Tochigi

## 【1】クラブ紹介

# -箱の森東部シニアクラブについて-

### 【クラブ概要】

発足 昭和43年11月 会員数 42名

### 【クラブ理念】

会員相互の親睦を図り、老後の生活を健全で豊かなものとし、  
併せて家庭の福祉と社会の福祉を図る

### 【クラブ活動内容】

e-sports 輪投げ 手芸 グラウンド・ゴルフ

### 【大切にしていること】

楽しく活動できるように環境を整えること 自治会連携





手芸クラブのみなさん

## 【2】 実施背景

新しいことに挑戦することで、日常の生活に変化と刺激を生み出し、新規会員獲得の新たな魅力づくりとする

### 《活動の枠組み》



《地域に愛着を持つ人の創出・拡大》

### 【取り組んだこと】

体験する



### 【3】実施目的

《活動の魅力づくりによる “引きこもり防止” と “フレイル・認知症予防”》

“住民” から “関わる人” に、そして、 “地域に愛着を持つ人” へつなげる -3ステップ-

《みんなが学んで》



《体験して》



《教えて》



《★地域で活躍★》



## 【4】実施方法

# ≪ 自治会公民館を会場としe-スポーツを開催 ≫

### 【令和6年度】

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	活動に関わった団体・組織
定例開催 (毎週 月・火)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	箱森東部シニアクラブ
e-スポーツ デモンストレーション			○										協力会社様、箱森東部シニアクラブ
自治会はつらつの行事認定			○				○						自治会、栃木市包括支援センター、箱森東部シニアクラブ
単位クラブ交流					○								静寿会、箱森東部シニアクラブ
新規会員+3名以上			○										箱森東部シニアクラブ

### 【令和5年度】

事業名	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	活動に関わった団体・組織
eスポーツ体験会	○						定例開始	自治会、他市の老連事務局、他市単位クラブ、市老連事務局、県スポーツ振興課、箱森東部シニアクラブ
認知症予防チェック		○				○	○	栃木市包括支援センター、箱森東部シニアクラブ
eスポーツ デモンストレーション		○	○					サポート業者様、箱森東部シニアクラブ
地域への情報発信					○			自治会、隣接自治会、育成会、児童・生徒、民生委員
新規会員+3名以上							○	自治会、箱森東部シニアクラブ

【5】実施結果

栃木市保健福祉部

栃木中央地域包括支援センター測定結果（平均値）

N=14人 平均年齢 78.85歳

測定項目	単位	令和5年10月16日	令和6年10月28日	差異
<b>TUG</b>	秒	7.34	6.5	<b>+ 0.84</b>
握力（右）	kg	22.79	19.95	- 2.84
握力（左）	kg	22.12	21.06	- 1.06
<b>片足立位時間</b>	秒	25.34	25.59	<b>+ 0.25</b>
<b>5m歩行</b>	m/秒	2.85	2.65	<b>+ 0.21</b>
<b>主観的健康感</b>	-	2.56	3.23	<b>+ 0.67</b>

- TUG（Timed Up & Go Test）⇒歩行能力や動的バランス、敏捷性などを総合的に判断する評価方法
- 握力⇒全身の筋力を判断する評価方法
- 片足立位時間⇒転倒のリスクを判断する評価方法
- 5m歩行テスト⇒移動能力・歩行能力を測定する代表的な評価方法
- 主観的健康感⇒医学的な健康状態ではなく、自らの健康状態を主観的に評価する指標

## 【5-2】実施結果（会員の声）

孫とも  
話ができる！

久々のゲームなので  
不安だったが、できた！

やってみると、  
意外と  
ハマってしまう！

### 会員のみなさんの声

毎週、公民館に  
来るのが楽しみ！

ゲームをしていくうちに  
自然と  
とにかく盛り上がる！

ハイスコアは出せなくても、  
飽きないように、難易度を  
上げて楽しんでいます！

# 元気シニア活躍推進モデル事業

## 《 “e-sports” を実施してみた感想 》

- ① **1年で60～70代の6人が新規会員として加入**  
- 今後は「クラブの活気で幅広い世代間交流」を実現したい-
- ② **最初は電源の入れ方もわからず、全てが難しかった**  
- 今は自分で準備し、ゲームをして片づけまで、できている-  
- 初めての会員にもていねいに教えることができるようになった-
- ③ **「会員の幅広い興味を刺激する」新たな試みを実施したい**  
- アプリの選定も重要なポイント-

# 【7】活動写真



【7-2】活動写真

# 静寿会さんとの交流会



つぎ、いって  
みよう!

e-スポーツだよ!

全員集合



Let's play!  
enjoy

ボウリング

はじける笑顔!

ハジける笑顔!

【8】 今後の展開

会員の幅広い興味を刺激

新たな試みを継続

健康

笑顔 集まり

幅広い世代間交流での若返い

たのしみ・わらう・はっさんする



生涯現役シニア  
応援センター

ぷらっと

# 元気シニア活躍推進モデル事業

## 活動事例の発表



生涯現役シニア  
応援センター

ぷらっと



令和7年3月18日



# 持続可能な 3世代 コミュニケーションの 提供と地域再発見!



足利市シニアクラブ連合会  
毛野地区 川崎町曙クラブ





← 足利駅

佐野市 →

JR 両毛線

渡良瀬川

50



足利フラワーパーク

川崎町

渡良瀬ウォーターパーク  
臨時休業

Yard 足利福富  
徳蔵寺山門(薬医門)

大沼田町

曹洞宗 明鏡山 龍雲寺

スズキ自販栃木 スズキアリーナ足利いかるぎ

栗田美術館  
駒場町

常見町

福富町

上波垂町

本源寺山門(鐘楼門)

佐野市

寺岡

# 【1】クラブ紹介

## -川崎町曙クラブについて-

### 【クラブ概要】

発足 昭和44年7月 会員数 47名

### 【クラブ理念】

会員相互のコミュニケーション

### 【クラブ活動内容】

親睦会 自己啓発 健康増進

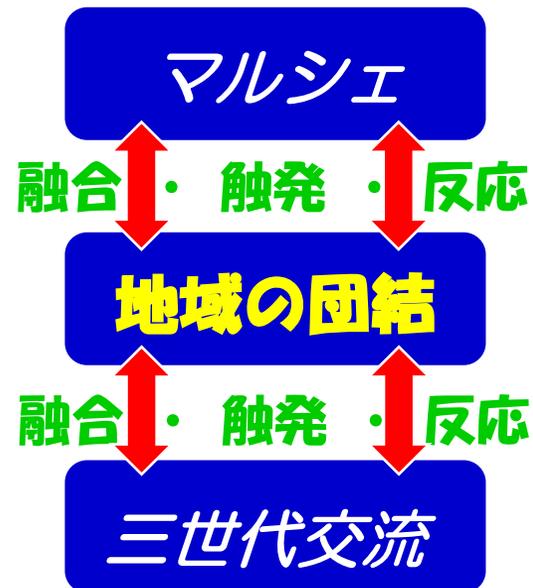
### 【大切にしていること】

地域との連携や貢献 地域文化の学習 顔見知り

## 【2】実施背景

“令和元年東日本台風” で大きな被害に見舞われた  
“コロナ” で会員間の交流機会が減少

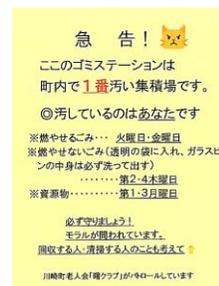
《活動の枠組み》



《地域に愛着を持つ人の創出・拡大》

【積極的に取り組んだこと】

ゴミステーションパトロール



マルシェ・三世代交流



ウォーキンググリーン作戦



# 【2-1】 活動内容

"住民" から "関わる人" に、そして、 "地域に愛着を持つ人" へつなげる -3ステップ-



参加  
《前》

-アンケート-

地域活動の必要性を  
意識しない人

- ①マルシェ 18人  
N=85人
- ②3世代交流 3人  
N=38人



参加  
《中》



参加  
《後》



地域活動の必要性を  
意識しない人

- ①マルシェ 2人  
N=85人
- ②3世代交流 0人  
N=38人





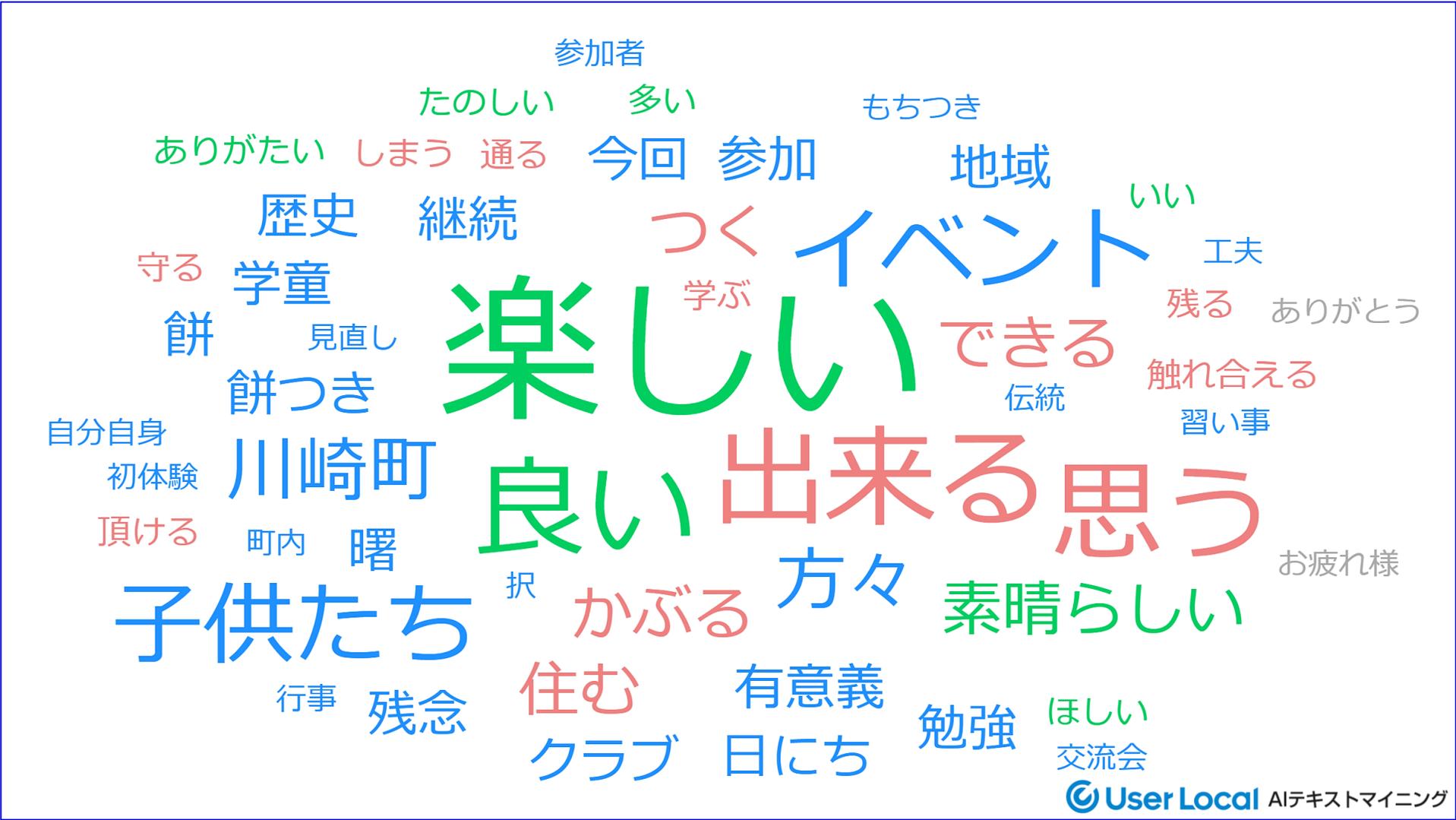
## 【2-2】活動実績

項目	実施結果
三世代交流	12月 餅つき大会・歴史講座を開催
マルシェ	4月・9月 焼きそば等提供・プリン等販売
ゴミステーション パトロール	毎月1回 町内8ヶ所のパトロールを実施  指摘すべき事項が減少してきた印象。 パトロールの実施及びその結果を周知したことの効果が出てきている。
散策ウォーキング ＋ クリーン作戦	3月開催 町内の文化財散策とクリーン活動を実施  町内の文化財を通じた地域交流の必要性を感じた人が参加。 子どもの参加を望む声があった。

## 【2-3】 活動効果

項目	実施効果
理解	活動の周知により、クラブについての理解がすすんでいる。他地区からの高評価。
支援	自治会や育成会からの支援もより得られやすくなった
変化	会員の意識の変化（自信と役割の認識向上、準備や行事への参加を楽しみにしたり、特技を持つ会員の協力など）

# 三世代交流のアンケートをAIが解析



スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。  
単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

# 三世代交流のアンケートを ChatGPTで文章を要約

これからも継続してほしいイベントです。  
できたのは良かったと思う。  
まわりの方々のアドバイスも素晴らしかったです。  
準備が大変ですが、大切なことです。  
川崎町の伝統を守るために。

※ChatGPTとは  
人間の対話に近い自然な文章を生成する  
AIによるコミュニケーションサービスです。

### 【3】 継続していく方法

項目	検討内容
【実施体制】	将来、単一クラブだけでは存続が難しくなる可能性があり、複数あるいは地区（学区）クラブとの共同運営も視野に
【運営方法】	リーダー指導の下での運営にならざるを得ないので、 （リーダーの役割がより重要になる） 早めにサブリーダーの育成などにも配慮
【課題と対策】	①サブリーダー候補者へのアプローチが重要 ②地域に溶け込むことの大切さを理解してもらう ③町内文化の伝承を行う

## 【4】他地域への横展開について

対象	実施案
隣接自治会	自主防災組織などを通じた隣接自治会への案内や招待
マスコミ	マスコミなどへの取材（周知）の働きかけ
学区	地区（学区）の諸行事を通じたコミュニケーションの場の活用

## 【5】気づいた視点・気づいた行動

- ①町外に居住している子や孫（外孫）が参加
- ②パトロールでゴミ出しルールに改善
- ③一部会員の行動や意識に変化



急 告! 🐱

ここのゴミステーションは  
町内で**1番**汚い集積場です。

◎汚しているのはあなたです

※燃やせるごみ・・・火曜日・金曜日  
※燃やせないごみ(透明の袋に入れ、ガラスビンの中身は必ず洗って出す)  
……………第2・4木曜日  
※資源物……………第1・3月曜日

必ず守りましょう!  
モラルが問われています。  
回収する人・清掃する人のことも考えて!

川崎町老人会「輝クラブ」が主導しています



## 【6】 会長所感

- ①モデル事業で、クラブの活動への評価が向上
- ②新規入会者が増えた
- ③改めて自治会や育成会との連携が必要に



## 【6】 会長所感

④歴史・文化伝承の必要性を痛感

⑤世代間の溝（気持ちの隔たり）をなくす

⑥サロン会員（より若手の）の意見も取り入れる





生涯現役シニア  
応援センター

ぷらっと

# 元気シニア活躍推進モデル事業

## 活動事例の発表



生涯現役シニア  
応援センター

ぷらっと



令和7年3月18日

# 元気シニア活躍推進モデル事業

“令和4年度採択モデル事業 代表事例報告”

作って! 食べて! 交流して!

《 未来につなごう桑の葉料理 》



令和7年3月

小山市老人クラブ連合会  
思桜会 桑支部 喜沢中部喜楽会



※モデル事業 ⇒ 老人クラブ活動を主体としたシニアの社会参加の普及と活躍の推進を目的とした社会貢献活動



桑畑

マルベリー館

加工所

いきいきセンター

東北新幹線

東京



# 【クラブ紹介】



## -喜沢中部喜楽会について-

### 【クラブ概要】

発足 平成14年5月 会員数 29名

### 【クラブ理念】

“会員同士は仲良く、悪口は言わない。”

### 【クラブ活動内容】

健康マージャン教室 グラウンドゴルフ お茶会

### 【大切にしていること】

“楽しく♪ いつもワイワイ笑顔で♪ 楽しく♪”

# 1. モデル事業に応募した “背景”

＜桑の葉の生産と桑の葉料理存続の危機＞

## 【実施したこと】

地区特産の桑の葉を使った

- ①料理教室の開催
- ②地域イベントへの参加

目的 : “桑の葉料理” を後世に伝えてゆくこと

進め方 : “桑の葉料理レシピや健康効果” を広める

内容 : “食育” “健康づくり” “地域間交流” 活動

## 2. モデル事業に応募した “効果”

- 料理 **前** -



最初は緊張気味

- 料理 **中** -



やっていくうちに

- 料理 **後** -

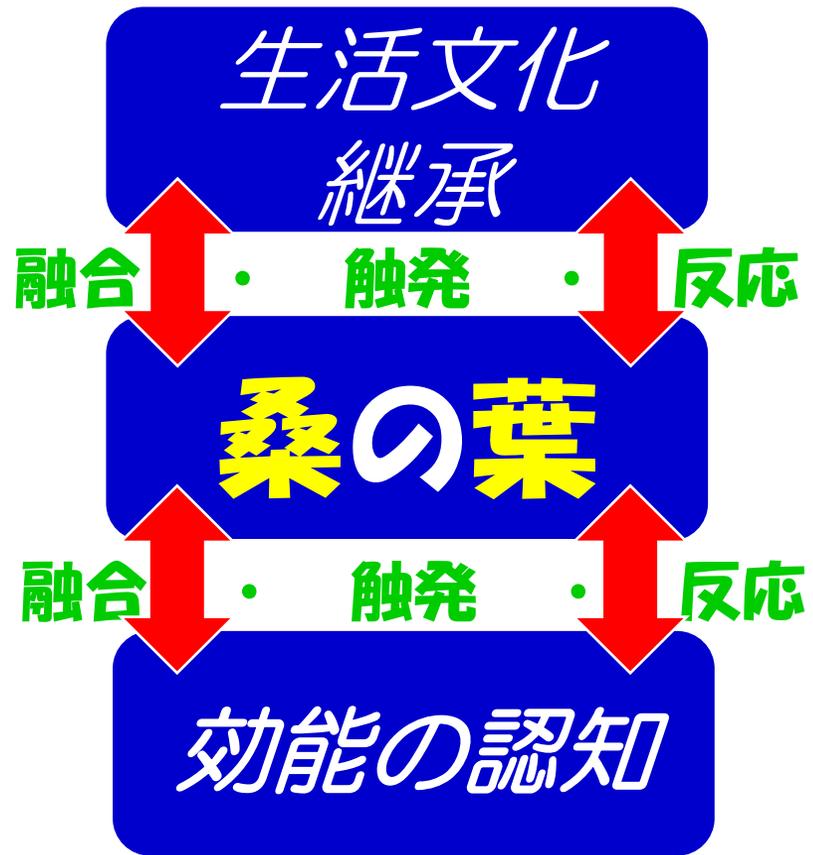


笑顔になってる

“住民”から“関わる人”に、そして、“地域に愛着を持つ人”につながる “効果”

# 3. 桑の葉伝承を目的/桑地区中心に活動

《活動の枠組み》



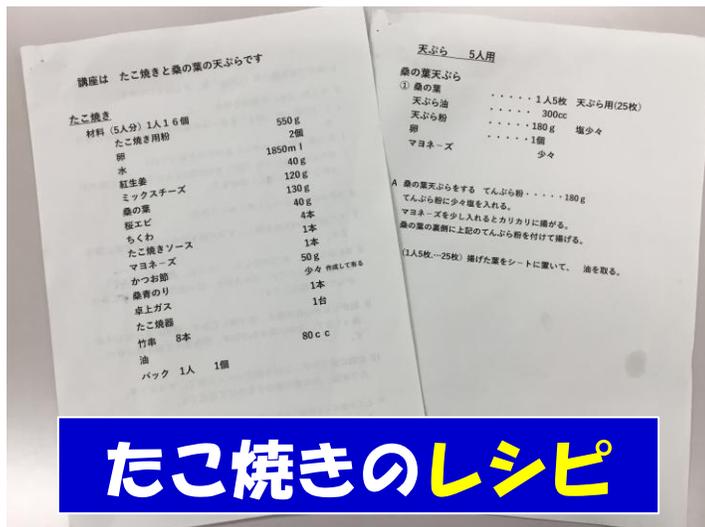
《積極的に取り組んだこと》



《地域に愛着を持つ人の創出・拡大》

# 4. 料理講座で仲間づくり/新レシピで普及

《積極的に取り組んだこと》



たこ焼きのレシピ



桑の葉入いたこ焼き



桑の葉天ぷら



餃子も!



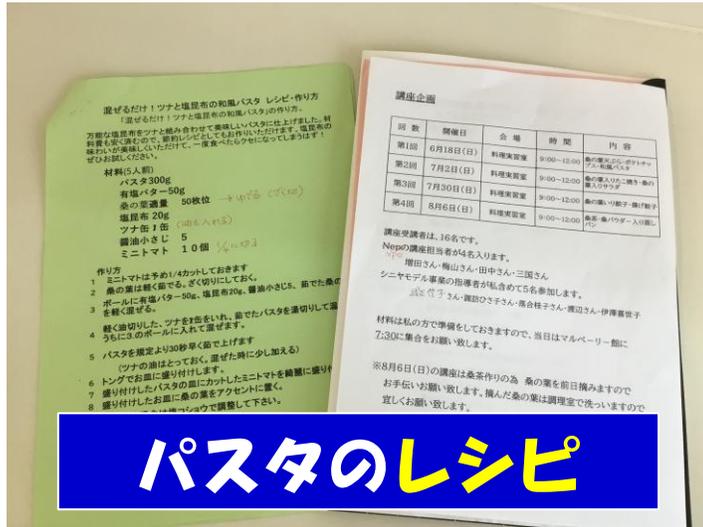
蒸しパンも!



かき揚げも!

# 4. 料理講座で仲間づくり/新レシピで普及

《積極的に取り組んだこと》



# 4. 料理講座で仲間づくり/新レシピで普及

《積極的に取り組んだこと》



桑の葉チップも!



桑の葉茶も!



# 5. 地域イベント出展/地域間交流へと広域展開

《秋祭りに参加》

《サロンに出張》



たこ焼き体験会でPR

祭りでPR

たこ焼きランチ会でPR



# 5. 桑の葉ブースは大盛況/予想外の反響



**1時間で120人分完売!**



**いつも・人気!**



**テレビ小山も!**



**子ども達も!**



**たくさん!**



**来てくれました!**

# 6. 健康づくりの訴求活動/HbA1cの推移

## 【参考値】

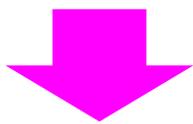
◇桑茶を(小さじ半分の量を湯飲み茶わんで1日3~4回)飲み続けた方の、「個人別HbA1c推移」

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん	Iさん	Jさん	Kさん	Lさん	※Mさん	※Nさん
2022年12月	7.0	6.8	7.2	8.5	5.2	7.4	9.9	7.5	8.5	7.4	7.2	8.5		
2023年3月	6.6	6.3	6.8	7.4	5.1	6.4	6.2	5.5	6.8	6.8	6.6	6.8	7.8	9.0
3か月間の減少値	-0.4	-0.5	-0.4	-1.1	-0.1	-1.0	-3.7	-2.0	-1.7	-0.6	-0.6	-1.7	-	-
2023年9月	6.4	6.3	6.4	7.0					7.0	6.6	6.4	6.6	6.8	7.0
6か月間の減少値	-0.6	-0.5	-0.8	-1.5	-	-	-	-	-1.5	-0.8	-0.8	-1.9	1.0	2.0

※HbA1(ヘモグロビンA1c)とは、過去2か月程度の血液中の糖分の状態を評価する指標

※Mさん、Nさんは2023年3月飲用開始

※人間ドッグ学会のHbA1c基準値 5.5



HbA1cが高い



HbA1cが低い



# - 活動のまとめ -

“参加体験型”の発信 → 地区内外への行事への参加 → “家庭で桑の葉料理”の献立化

《一緒につくる・話す・食べる》

《サロン・祭事・地域おこしの場》

《桑の葉料理が食卓にのぼる日常》

- なかまづくり -

- 一緒に地域に出かける -

- 地域に根差す食文化 -

**【続けていくこと】**



# 7. 桑の葉の商品化/高齡者の雇用創出

## 【背景】

- ① 県老連モデル事業に採択
- ② 桑の葉文化伝承を目的に桑地区中心に活動
- ③ 地域イベント出展、出前講座等の地域交流・広域展開
- ④ 出展時の桑の葉ブースは大盛況で予想を超える反響
- ⑤ **桑の葉の商品化 = 桑の葉文化伝承 + 高齡者の雇用創出**



# 7. 桑の葉の商品化/高齡者の雇用創出

## 【商品化の理由】

- ①反響の大きい**桑の葉効果**をより多くの人に広めたい
- ②桑の葉で**地域の価値や魅力**を多くの人に発信できる
- ③多くの「就労したい」と思いながらもできない状況が続いている**高齡者の方の課題・問題解決**につながる

## ※生涯現役社会の実現のため

一過性のものではなく持続・継続  
できる事業を、地域で段階的に取り組む！



# 7. 桑の葉の商品化/高齡者の雇用創出



加工所開所を祝って**かんぱい!**



粉碎機で**パウダー状**にします!

# 7. 桑の葉の 商品化 / 高齢者の 雇用創出

小山市ふるさと納税 返礼品



レトルトパウチで真空パック!

商品名：桑抹茶パウダー!

# 8. 桑の葉の商品化/高齡者の雇用創出

【 今後の方向性 】

- スタッフの方の声 -



- 70歳以上になっても**仕事に就けるのはありがたい!**
- 今まで、**家でゴロゴロ**してるだけだった!
- **この年齢だからこそ**やらなきゃいけない!



事業の **“根底”**

今後も **“共有”** しあう

一丸となり事業を進め発展させていく **“欠かせないもの”**



# - 地域の課題・問題に協働で取り組むために -

## 《気づいた視点》

- 人と人がつながること -

場づくり×気軽体験×会話



## 《気づいた行動》

- 地域の接着剤になる -

しらせる・あつまる・つながる



生涯現役シニア  
応援センター

ぷらっと